

みずほCustomer Desk Report 2016/06/22 号(As of 2016/06/21)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	103.83 AUD/USD
TKY 9:00AM	103.83	1.1321	117.54	0.9620	1.4673	0.7457
SYD-NY High	105.06	1.1350	118.66	0.9624	1.4788	0.7513
SYD-NY Low	103.58	1.1242	117.34	0.9573	1.4615	0.7447
NY 5:00 PM	104.77	1.1242	117.77	0.9624	1.4653	0.7447
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.455/13.055		△25RR	2.700	Yen Call Over	

NY DOW	17,829.73	24.86	債券市場	日本2年債	-0.2430	0.3bp
NASDAQ	4,843.76	6.55		日本10年債	-0.1420	0.3bp
S&P	2,088.90	5.65		米国2年債	0.7630	1.8bp
日経平均	16,169.11	203.81		米国5年債	1.1985	1.6bp
TOPIX	1,293.90	14.71		米国10年債	1.7059	1.7bp
シカゴ日経先物	16,205	305.00	為替市況	独10年債	0.0500	▲0.1bp
ロンドンFT	6,226.55	22.55		英10年債	1.2870	4.9bp
DAX	10,015.54	53.52		豪10年債	2.1580	1.9bp
ハンセン指数	20,668.44	158.24		USD/CNH	6.5935	0.0034
上海総合	2,878.56	▲10.25		ドルインデックス	94.02	0.41
USDJPY 3M Vol	11.74	0.09%	商品市況	CRB指数	193.077	▲1.33
USDJPY 6M Vol	11.72	0.04%		NY金	1,272.500	▲19.60
EURJPY 3M Vol	13.77	▲0.17%		WTI	49.850	▲0.11
EURJPY 6M Vol	13.02	▲0.17%		Dubai Spot	46.41	0.23

東京	東京時間のドル円は103.83レベルでオープン。発表された日銀金融政策決定会合議事要旨(4/27-28分)において「複数の委員が現行のマイナス金利に関して国債市場の安定性を損ねる」と指摘していたことが明らかになると、ドル円は昨日安値(103.76)を下抜け、一時103.58まで下落。一気に年初来安値(103.56)を試す展開かと思われたが、結果的に同水準ではサポートされる形となり、103.90近辺まで反発。日経平均株価がじりじりと上昇する流れを受けて、ドル円も104円台を回復すると104.20近辺まで上昇した。午後に入り、日経平均株価が一段高の展開となると、ドル円も株価に引っ張られる形で一時104.53まで上昇し、104.44レベルにて海外市場に渡った。またRBA理事会議事録(6/7分)が発表され、「6月会合での政策金利据え置きは持続可能な成長に整合的」との文言が見られると、今後の利下げ期待が後退し、豪ドルは対ドルで一時0.7488まで上昇。その後、0.7470近辺で様子合い推移が続き、0.7480レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は104円台半ばから後半にかけて堅調に推移。朝方は104.44レベルでオープン。引き続きブックメーカーの英国EU残留のオッズが離脱より優勢であることが好感されポンド円は堅調となり、これを背景にドル円は104.75まで上昇。104.68レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.13台前半で軟調に推移。欧州時間序盤の欧州株が前日比マイナス圏で取引され、原油の下落を横目にドル買いがやや優勢となる中、ポンドの全般的な強さを背景としたユーロポンドの下落と共にユーロドルもつれ安となり、1.1310レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は104.68レベルでオープン。朝方は、ドラギECB総裁が「更なる刺激策の用意がある」とことや、「ダウンサイド」リスクは著しいリスクがあり、不確実性が高いと発言したことからユーロ円の売りが優勢となると、ドル円も連れて104.35まで下落する。その後イエレンFRB議長の議会証言が始まったものの、目新しい発言は無く、104.50付近での推移が続く。午後に入り特段の新しい材料が無い中、ドル買いが優勢となったことから、ドル円は105.06まで上昇するも、終盤に掛けて反落し、104.77レベルでクローズした。一方、ユーロドルは1.1310レベルでNYオープン。朝方は前述のドラギECB総裁発言等からユーロ売りが強まり、1.1243まで下落する。その後1.1282まで戻す局面があったものの、全般的にドル買いが優勢となったことから上値を重くし、1.1242レベルでクローズした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西島・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月21日	8:50	日 日銀金融政策決定会合議事要旨(4/27-28分)	-	-
	10:30	豪 RBA理事会議事録(6/7分)	-	-
	18:00	独 ZEW現況/景気期待指数	6月 54.5/19.2	53.0/4.8
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	6月 20.2	-
	22:00	欧 ドラギECB総裁講演	-	-
	23:00	米 イエレンFRB議長上院議会証言	-	-

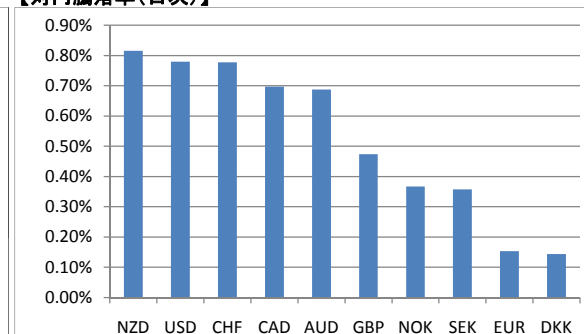
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月22日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.4%
	23:00	欧 消費者信頼感指数・速報値	6月 -7.0	-7.0
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.55M	5.45M
	22:25	米 フィッシャーFRB副議長講演	-	-
	23:00	米 イエレンFRB議長下院議会証言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.70-105.00	1.1200-1.1350	117.00-118.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場のドル円は104円台後半を中心に底堅い値動きも、イベントを前に全体的に方向感に欠ける展開。アジア時間に年初来安値103.55に迫りやや軟調地合いであったドル円は日経平均の上昇を横目に104円台半ばへじりじりと上昇。週明けからBREXITへの警戒感が和らぐ格好でリスクセンチメントの改善が見受けられる中、欧州株堅調の流れを米国株も引き継ぎ底堅さを見せ、こここのところの反動からか米金利が上昇するとドル円も一時105.06をつけるなど強含み。ただし英国の国民投票を控え一段と上値を試すまでは至らず。イエレンFRB議長が上院議会証言で追加利上げについて「労働市場に減速感があり慎重姿勢が適切」との考えを示し、BREXIT問題も「経済に重大な影響がある」と懸念を示したが、マーケットの反応は限定的にとどまっている。なお、ドラギECB総裁がブリュッセルでの議会証言でユーロ圏内のインフレは脆弱な状態が続いているとの認識を示し、「インフレ押し上げのためにさらに行動する用意がある」と述べるとユーロ売りが拡がる場面があった。本日のドル円は引き続き英国の国民投票前で方向感に乏しい相場展開となりそう。BREXITを巡っては最新の世論調査で再び残留派・支持派が拮抗する結果が報じられ、不透明感・警戒感は払拭されず。各国中銀がBREXITに備えドル資金供給などの緊急措置に動き始めるなど市場安定化に向けた取組が活発化し、ドル円相場もやや底堅さを取り戻す様相をうかがわせるも、105円での上値の重たさを感じながら104円台での値動きが想定される。